

平成22年度貝毒プランクトン出現状況 (No. 13)

通報番号 (MG) - (22) - (20)

通報月日 平成22年7月20日

機関名 宮城県水産技術総合センター

調査地点	調査月日	水深 (m)	水温 ()	塩分	貝毒プランクトン出現数(細胞数/L)				備 考 (他 <i>Dinophysis</i> 属の内訳)
					<i>D.fortii</i>	<i>D.acuminata</i>	他 <i>Dinophysis</i> 属	<i>Alexandrium</i> spp.	
荻浜内	7/20	0	26.7	27.74	10	0	0	0	
		5	18.0	32.80	10	0	0	0	
		10	16.3	33.24	40	0	0	0	
荻浜沖	7/20	0	26.3	26.59	0	0	0	0	
		5	18.7	32.74	70	0	30	0	<i>D. tripos</i>
		10	16.4	33.32	170	0	60	0	<i>D. tripos</i>
		15	15.0	33.53	110	20	0	0	
塚 浜	7/20	0	21.5	32.10	0	0	0	0	
		5	17.3	32.86	20	0	0	0	
		10	16.3	33.27	30	0	10	0	<i>D. tripos</i>
		15	15.6	33.44	180	10	0	0	
		20	14.7	33.50	270	0	0	0	
		底	13.7	33.58	10	0	0	0	

底はB-1m(27.5m)

下痢性貝毒プランクトンである*D.fortii*の出現数は前回(7月5日調査)と比べて荻浜内湾では変わりませんでした。沖合では減少しました。

塚浜では、前回(7月5日調査)と比べて*D.fortii*の出現数は増加しました。

麻痺性貝毒プランクトンである*Alexandrium* spp.は出現しませんでした。

水温は荻浜湾では(7月5日調査)と比べ内湾底層では1.1、沖合底層では0.7 上昇しました。

現在、宮城県南部海域産ムラサキイガイは、平成22年5月20日付けで出荷自主規制措置を講じています。また、宮城県北部海域産ムラサキイガイも平成22年6月17日付けで出荷自主規制を講じています。

担当:環境資源部 菊地・鈴木・武山
TEL:0225-24-0138,FAX:0225-97-3444